

2022 年度実施概要

学校名

気仙沼市立唐桑中学校

採択活動名

探究的な学習

1年：「防災のまち」 3年：「海のまち」

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海に親しむ活動 志津川自然の家でのカッター漕艇	1	総合的な学習の時間
2. 災害と災害対策を考える 公民館の防災対策のインタビュー，気仙沼市東日本大震災伝承館訪問	1	総合的な学習の時間
3. 海のまちを目指して行動する 個人またはグループによる探究活動	3	総合的な学習の時間
4. 伝統芸能継承のために行動する 松圃虎舞保存会の協力による太鼓演舞	3	総合的な学習の時間
5. 10年後の海のまち気仙沼を提言する それぞれのテーマで探究した成果として，10年後のまちづくりを提言	3	総合的な学習の時間

取り組みの概要

持続可能で発展的な社会をつくるための担い手の育成を目指し、地域社会の一員として身近な地域に貢献する人材を育て、国際社会の一員としてグローバルな視点に立って行動できるようにする。また、海との関わりが深い、本校生徒の故郷について、その成り立ちや生活、歴史等を学ぶことを通して、良いところを知るとともに、抱えている課題について考え考察できた。探究的な学びから、我が故郷について整理し、未来に向けた、中学生が考える解決方法を提言した。各学年での取組は以下の通りである。

【第1学年】

「防災のまち」を目指して何ができるのか。

○海を知るために

- ・志津川自然の家でのカッター漕艇体験を通して、海に親しみ、海をより身近なものとして受け止めることができた。

○地域の防災について理解を深めるために

- ・町内の公民館に行き、災害備蓄品や避難所設営について学んだ。また、気仙沼東日本大震災伝承館訪問を通して、震災時の様子を知り、災害への備えの必要性を実感した。

【第3学年】

「海のまち」を目指して何ができるのか。

○地域と協力して知識をインプットするために

・地域人材や魚を学校給食に普及させる会の協力をいただき、食、観光、産業、伝統芸能等の多方面からの講話を聴講することで知識をインプットすることができた。

・まちづくり協議会や地域支援コーディネーターの協力からフィールドワークや探究活動のアドバイスをもらうことで生徒の学習の一助になった。

○校外学習での学びを生かすために

・外洋巡りとして「海から陸」を見ることで、日常とは異なった見方で「唐桑のまち」や「唐桑の海」について考えた。更に、マグロ船を見学して船員の仕事や遠洋漁業について学んだ。また、早朝の魚市場に行き、カツオの水揚げ、気仙沼魚市場を見学した。その後、リアス・アーク美術館で漁の歴史や気仙沼の水産業の歴史について学ぶことができた。校外学習を通して、自分の「目」で様々な課題等に気付くことができた。



外洋巡りの研修



マグロ船見学



魚市場でのカツオ水揚げ

【成果】

・生徒が十分に多種多様な分野のインプットができたことで、課題設定がスムーズで生徒主体の探究活動に取り組むことができた。

・地域支援コーディネーターの方々や魚を学校給食に普及させる会の皆様の御協力があり、生徒の疑問点や提案をしっかりと受け止めて返答していただけた。

・自分で学習した内容を生徒がゲストティーチャーとなり、小学5年生に授業できた。

・探究学習を通して、自分たちにできることを広めていこうという積極的な行動が見られた。

【課題】

・フィールドワークや体験活動を充実させるための人的、方法など工夫をしていくことが課題である。

・このような教師によるまとめや報告が非常に多く、教師側の負担が非常に大きい。